

講義名	卒業研究
講義コード	54044
担当教員	池田 曜子
開講期・曜日・時限	通年 金曜日 4時限
備考	

ゼミ
学部ゼミ
学部
人間社会学部
学科
人間社会学科
演習名
池田曜子ゼミナール（対人関係／教育／サブカルチャー）

<p>概要説明</p> <p>この研究演習の目的は、対人関係について心理学・社会学における基礎知識を身につけることです。さらに、対人関係の重要要素である教育やサブカルチャーに関する分析も行うため、複数の領域について学ぶことが可能です。そのためには、以下のことが大切になってきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身がどのようなことに興味・関心を持っているのかについてよく考える態度を身につける 自分の知りたいこと、学びたいことを中心に、各自資料収集し、文献による知識の獲得にも努めること 情報データ収集方法に関する知識と技法を獲得すること 自らを見直し、新たなことに挑戦すること <p>これらのことは、すべて自分で考え積極的に行動することが前提です。研究演習では、それぞれの興味・関心に基づいた研究と発表を中心に、幅広く学ぶことをめざします。</p>

学位
博士（学術）

<p>教員よりの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身で考え学ぶ意思があることが大前提です 主体的・積極的な姿勢で取り組むことが必要です 様々なことに興味・関心を持ち、狭い範囲の学びで満足しないようにしてください 常に周囲のことに対して疑問を持つように心がけてください 自分自身の能力の限界を決めつけず、未知の事柄にも挑戦してください 授業以外の時間に活動を行う場合があることを了解しておいてください ルールやマナーを守り、他の人と気持ちよく学び合えるように心がけてください
--

教員英字氏名
Ikeda Yoko
研究室
研究棟 3406
最終学歴
奈良女子大学大学院人間文化研究科 博士後期課程修了

<p>主な研究活動・社会活動・研究業績</p> <ul style="list-style-type: none"> 「多様な場面で応用可能な課題遂行能力育成のためのフィールドワークの可能性検証」(『高等教育センター紀要』第4号、2019年3月) 「多様な場面で応用可能な課題遂行能力育成のためのフィールドワークの可能性検証」(『高等教育センター紀要』第3号、2018年3月) 「再生産される『子どもらしさ』：好ましい子どもをめぐる語りから」(『子ども社会学研究』、2016年6月) 「社会学は教育とどう向きあうのか」(『大学生のための社会学入門』、2016年3月) 「社会学ではどのようなことがあるか：学童の様相」、「人が集まり、行動するとうなるか：集団行動とその動き」、「社会的学習」(『新しい心理学へのアプローチ』、2016年12月) 「中学生の仲間集団と教師の力動的関係」(奈良女子大学『人間文化研究科年報』第29号、2014年3月) 「ママ友関係における対人葛藤経験とパーソナリティ特性との関連性」(日本パーソナリティ心理学会『パーソナリティ研究』、2014年3月) 「いじめ」(福村出版『新・青年心理学ハンドブック』、2014年1月) 「思春期(成長加速)」(ハーベスト社『子ども問題事典』、2013年7月) 「学域内における仲間関係：子どもたちの所属集団同士の差異化戦略」(奈良女子大学『人間文化研究科年報』第28号、2013年3月) 「大学生の友人関係における携帯電話利用の影響」(奈良女子大学『研究教育年報』第9号、2012年12月) 「ネット社会におけるいじめの構造：現代青年たちの友人関係構築に対する携帯電話の影響」(『電気通信普及財団 研究調査報告書』No.27、2012年12月) 「生徒たちの現場で：ジェンダー心理学の視点から」(かもがわ出版『現場の心理学』、2012年12月) 「大学生の友人関係のありかた：2つの類型から」(奈良女子大学『差異と交感の人間学プロジェクト報告書』、2012年3月) 「友人関係」(奈良教育大学『奈良県の子どものストレスと学校・家庭生活との相関に関する調査研究報告書(Part2)』、2009年3月) 「子どもの生活と意識：奈良県子ども調査の結果から」(国土社『教育』8月号、2008年8月) 「生活について(2)：家庭環境」(奈良教育大学『奈良県の子どものストレスと学校・家庭生活との相関に関する調査研究報告書』、2008年3月)
--

<p>主な卒業論文のタイトル</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ジャグリングのパフォーマンスに関しての気分一致効果と印象の研究」 「ストレスの原因とその解消について」 「各国の童話における共通点と相違点」 「大学生のテレビ・インターネットメディアにおける意識調査：映像型メディアに対する若者のとらえ方」 「授業による人の当たり前の基準」 「就活生と企業の就職活動と採用の意識の差について」 「懐かしいと感じる音楽について」 「音楽の聴き方と性格の関連性」 「商店街の魅力について」

<p>趣味・特技</p> <p>特技：何でも興味を持つことができます。明るく元気です。</p> <p>趣味：読書、自転車、細かい作業</p>

<p>所属</p> <p>人間社会学部人間社会学科心理コース</p>

<p>所属学会</p> <p>日本発達心理学会 日本教育社会学会 日本教育心理学会 日本子ども社会学会</p>
--

<p>専門分野</p> <p>社会心理学 発達心理学 教育社会学</p>

<p>選考方法</p> <p>研究演習（池田ゼミ）単位取得者対象</p>

<p>担当科目</p> <p>学習心理学 社会心理学</p>

<p>備考</p> <p>研究演習は大学生活の中でも非常に重要な位置を占めます。</p>

<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 出席は必ずしてください(やむを得ず欠席する場合は、必ず連絡すること) 自主的・積極的に研究演習やその他の活動にのぞむ姿勢、発表内容、成果物にもとづき評価を行います
